

経済センサス - 基礎調査に関する研究会（第3回）議事概要

- 1 日 時：平成23年3月2日(水) 13:30 ~ 15:30
- 2 場 所：総務省統計局6階 特別会議室
- 3 議 題：(1) 経済センサス - 基礎調査試験調査の実施方法等について
(2) 経済センサス - 基礎調査に関する研究会中間取りまとめについて
(3) 今後の研究会の進め方について
(4) その他
- 4 出席者：清水雅彦座長、廣松毅委員、森博美委員、菅幹雄委員、経済産業省産業統計室
統計調査部長、調査企画課長、経済統計課長、経済基本構造統計課長
- 5 議事概要：
 - (1) 「経済センサス - 基礎調査試験調査の実施方法等」について
⇒ 平成24年に試験調査を実施し、企業構造の把握及び事業所単位の調査について検証を行うという事務局案を提示し、了承。詳細については、来年度も引き続き検証を進める。
 - (2) 「経済センサス - 基礎調査に関する研究会中間取りまとめ（案）」について
⇒ 本年度の研究会の中間取りまとめとして決定。
 - (3) 「今後の研究会の進め方」について
⇒ 来年度研究会の進め方について了承。来年度については、4月以降4回程度の開催を予定。

【主な意見等】

- ・ 本社等の回答拒否は大変大きな問題。傘下支所事業所のプレプリントを実施することで本社等の回答に変化はあるのか、要検証。
- ・ 記入項目の簡易化が進めば、将来的にオンラインでの照会も可能となるのではないか。
- ・ 企業構造の事前把握の実施時期について、中間取りまとめの中で「総合的に判断する」とあるが、名簿整備の実施時期については、他調査においてもタイムラグ等の問題が発生しており、慎重に議論を進める必要がある。
- ・ ビジネスレジスターの運用開始に伴い、行政記録等を活用したデータ整備について、ビジネスレジスターと経済センサスの業務の関係を考えていく必要がある。